

中小工務店を中心としたグループが手がける高性能木造住宅の費用の一部が補助される

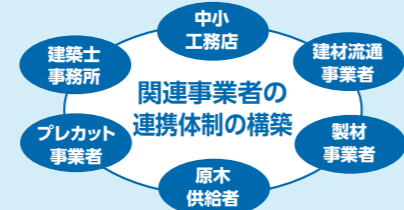
2022年度予算 住宅・建築物カーボンニュートラル 総合推進事業(200億円)の内数

長寿命型	長期優良住宅	上限140万円/戸 (最大180万円)
高度省エネ型	認定低炭素住宅	上限90万円/戸 (最大130万円)
	ZEH・NearlyZEH	上限140万円/戸 (最大180万円)
	ZEH(長期対応)	上限150万円/戸 (最大190万円)
ZEH Oriented		上限90万円 (最大130万円)

要件

条件 中小工務店(年間50棟未満)と建材流通事業者、建築士事務所等からなるグループの構成が必要。グループで「地域型住宅生産の基本方針」及び「地域型住宅生産の共通ルール」を提案し、国土交通省が優れた提案を採択する。

グループの構築



共通ルールの設定

- 地域型住宅の規格・仕様
- 資材の供給・加工・利用
- 積算、施工方法
- 維持管理方法
- その他、グループの取組

補助金額 建設工事費の1/10(ゼロエネルギー住宅の場合は、高性能木造住宅・建築物にするための掛かり増し費用の1/2以内) 2022年度事業では以下の各項目について条件を満たす場合、補助額の加算が可能。

加算措置 ※複数の加算措置に対応する場合は、上限を40万円/戸とする

- ①地域材等加算**
 - 主要構造材(柱・梁・桁・土台)の過半に地域材を使用する場合、20万円/戸を限度に補助額を加算
 - 地域の伝統的な建築技術の継承に資する住宅とする場合、20万円/戸を限度に補助額を加算(新設)
- ②三世同居/若者・子育て世帯加算(以下のいずれか)**
 - 玄関・キッチン・浴室又はトイレのうちいずれか2つ以上を複数箇所設置する場合、30万円/戸を限度に補助額を加算
 - 40歳未満の世帯又は18歳未満の子を有する世帯の場合、30万円/戸を限度に補助額を加算
- ③バリアフリー加算**
 - 一定のバリアフリー対策を講じた場合、30万円/戸を限度に補助額を加算(新設)

ZEH又はZEH水準の住宅に求める共通要件(2022年度事業より新設)

ZEH又はZEH水準の住宅は、以下の①又は②のいずれかを満たすものとする

- ①断熱材、太陽光パネル等の荷重を見込んだ構造計算を実施したものであること
- ②壁量計算等により構造安全性を確認したもので、以下の(1)~(3)のいずれかを満たしたものであること
 - (1)住宅性能表示制度の耐震等級3水準 であるもの
 - (2)住宅性能表示制度の耐震等級2水準であるもので、かつ、建築主 又は 買主へ説明及び同意取得を行うもの
 - (3)現行(2022年4月1日時点)の 壁量計算により構造安全性を確認したもの(耐震等級1水準)でかつ建築主又は買主へ説明及び同意取得を行うもの

長期優良住宅とは

長期優良住宅認定基準のイメージ(戸建住宅)

※2022年10月より一部基準改正予定

劣化対策
数世代にわたり住宅の構造躯体が使用できること。
劣化対策等級3に加えて、
・床下及び小屋裏の点検口を設置。
・床下空間に330mm以上の有効高さを確保。

省エネルギー性
長期に利用される構造躯体において必要な断熱性能等の省エネルギー性能が確保されていること。
・断熱等性能等級4 ※1

計画的な維持管理
建築時から将来を見据えて、定期的な点検・補修等に関する計画が策定されていること。
・構造耐力上主要な部分、雨水の浸入を防止する部分及び給水・排水設備について点検の時期・内容を定めること。
・少なくとも10年ごとに点検を実施すること。

住宅履歴情報の整備
補助事業の実績報告までに住宅履歴情報の適切な整備及び蓄積がなされていること

耐久性
長期にわたって居住可能な構造躯体を有すること。
・75㎡以上(2人世帯の一般型誘導居住面積水準)、かつ、住戸内の一つの階の床面積が40㎡以上。
※地域の実情に応じて引上げ・引下げを可能とする。ただし、55㎡(1人世帯の誘導居住面積水準)を下限とする。

住戸面積
良好な居住水準を確保するために必要な規模を有すること。
・75㎡以上(2人世帯の一般型誘導居住面積水準)、かつ、住戸内の一つの階の床面積が40㎡以上。
※地域の実情に応じて引上げ・引下げを可能とする。ただし、55㎡(1人世帯の誘導居住面積水準)を下限とする。

耐震性
極めて稀に発生する地震に対し、継続利用のための改修の容易化をはかるため、損傷のレベルの低減をはかる。次のいずれかの措置を講じる。
・耐震等級(倒壊等防止)の等級2とする。
・大規模地震時の地上部分の各階の安全限界変形の当該階の高さに対する割合をそれぞれ1/40以下とする。(層間変形角を確認)
・免震建築物であること。

維持管理・更新の容易性
構造躯体に比べて耐用年数が短い内装・設備について、維持管理(清掃・点検・補修・更新)を容易に行うために必要な措置が講じられていること。
・維持管理対策等級(専用配管)等級3

居住環境
良好な景観の形成その他の地域における居住環境の維持及び向上に配慮されたものであること。

Living Bell パナソニックの住まいのアフターサポートサービス
国土交通省認定 既存住宅流通活性化等事業 住宅履歴情報登録機関 登録番号 18番

サポート内容

- ・緊急トラブル対応
- ・適切な維持管理
- ・住まいの履歴管理
- ・日常のお困りごとサービス

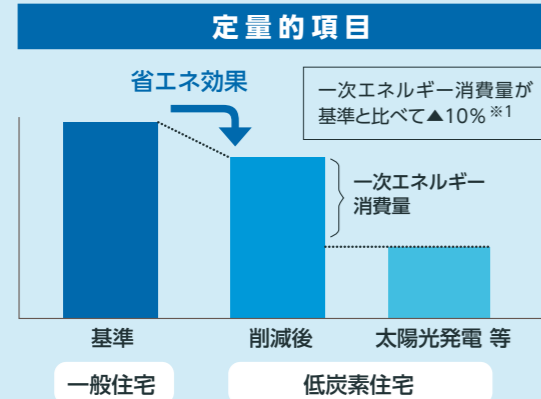
パナソニックのおすすめ商品例

<p>バスルーム</p> <p>オフローラ</p> <p>人造大理石浴槽だから、汚れにくく、おそうじもラクラク。保温浴槽Ⅱはお湯が冷めにくいから光熱費がお得です。(省エネルギー性、劣化対策、維持管理・更新の容易性)</p>	<p>キッチン</p> <p>ラクシーナ</p> <p>IHクッキングヒーターでは省エネ、食器洗い乾燥機では節水効果があります。エコナビで節約しながら快適さもしっかりキープ。(維持管理・更新の容易性)</p>	<p>住宅工法</p> <p>耐震住宅工法 テクノストラクチャー</p> <p>地震に強い安心の構造と、自由設計の大空間を両立する住宅工法です。(耐震性)</p>
--	---	--

認定低炭素住宅とは

認定低炭素住宅基準のイメージ

※2022年10月より一部基準改正予定



- 選択的項目**
- 8項目のうち2つ以上に該当すること
- ①節水に資する機器の設置(節水型トイレ、節水水栓、食器洗浄器)
 - ②HEMSの設置
 - ③太陽光発電と連携した蓄電池の設置
 - ④木造住宅である
- など
- ※1 2022年10月より基準改正予定

パナソニックのおすすめ商品例

定量的項目

- LED照明: LEDダウンライト
- 太陽光発電システム: 単結晶太陽電池モジュール
- 高効率エアコン: エアコンXシリーズ
- 換気: 熱交気調システム®
- 節湯水栓: W水流シャワー
- 節湯水栓: エコカチット水栓

選択的項目

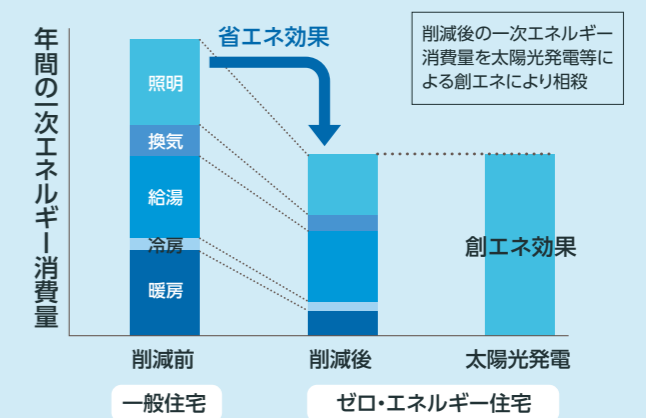
- 節水型トイレ: アラウーノシリーズ
- 節水水栓: タッチレス水栓
- 食器洗浄機: ビルトイン食器洗い乾燥機
- 蓄電池: 創蓄連携システム
- 高効率給湯機: エコキュート
- 高断熱浴槽: 保温浴槽II
- HEMS: スマートHEMS

※一例です。

ゼロ・エネルギー住宅とは

ゼロ・エネルギー住宅のイメージ

住宅の断熱性能等の向上に資する先導的な省エネ技術の導入や再生可能エネルギー等の活用等により、年間の一次エネルギー消費量がネットで(正味)概ねゼロとなる住宅



パナソニックのおすすめ商品例

定量的項目

- LED照明: LEDダウンライト
- 太陽光発電システム: 単結晶太陽電池モジュール
- 高効率エアコン: エアコンXシリーズ
- 換気: 熱交気調システム®
- 節湯水栓: エコカチット水栓
- 高断熱浴槽: 保温浴槽II
- 高効率給湯設備: エコキュート

選択的項目

- 節水型トイレ: アラウーノシリーズ
- 節水水栓: タッチレス水栓
- 食器洗浄機: ビルトイン食器洗い乾燥機
- 蓄電池: 創蓄連携システム
- 高断熱浴槽: 保温浴槽II
- 高断熱浴槽: 保温浴槽II

※各設備の基準はSIIホームページでご確認ください。 ※一例です。

詳細はこちらまで <http://chiiki-grn.jp/>



補助金等優遇制度/税制・減税
その他の住宅関連法令
新築
新築・リフォーム
リフォーム
補助金
減税